

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 7 年 第 1 回 定 例 会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	高 田 豊 繁	1 教職員住宅の整備対策について	(1) 教職員住宅のトイレの水洗化はどの程度進んでいるか。 (2) 老朽化が進んでいる住宅もあるが、トイレ、台所等の水回り、合併浄化槽等衛生設備を改修・更新し整備する考えはないか。	教育委員長 教育委員長
		2 奄美群島の国立公園指定について	(1) 現在どのような進捗状況であるか。 (2) 国立公園の指定区域の線引きについては、極力民有地の利用に支障を来さないよう配慮すべきであると考えるが、その対策をどう講じているか。	町 長 町 長
		3 地方創生対策について	(1) 地方創生が時代の要請となっていることから、これに集中して取り組むため、地方創生対策室を設置する考えはないか。 (2) 子育て支援対策の一環として、遊具等を配置した児童公園を各校区に整備する考えはないか。	町 長 町 長
		4 町育英奨学資金貸与制度の拡充について	(1) 現行の貸与制度のほかに、大学等への進学時に必要な入学金や生活準備金等に充てるため、金融機関から借りる教育ローン等の利子補給制度を創設し、島の宝である子供たちの成長を支援する考えはないか。	町 長 教育委員長
2	町 俊 策	1 環境教育エリアの整備対策について	(1) 現在整備中のビドウ地区の遊歩道に、リサイクルセンター、一般廃棄物最終処分場、建設予定のごみ焼却施設の見学路を整備・連結し、この一帯をリデュース（物を大切に使いごみを減らすこと）、リユース（使える物は繰り返し使うこと）、リサイクル（ごみを資源として再利用すること）の 3 R についての環境教育に活用できるエリアとして整備する考えはないか。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 7 年 第 1 回 定 例 会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
			(2) 環境教育エリアとして整備するためには、商工観光課が遊歩道を整備しているほかに、例えば、三施設への見学路の整備や各施設と3Rについての説明看板の設置は環境課が、遊歩道周辺の植生の保護と説明は産業振興課が、遊歩道から眺望できる四季ごとの落日の位置や北緯27度線と沖縄の本土復帰に係る説明は教育委員会が担当するといったように、関係課等による緊密な連携の下でのプロジェクト（開発事業）として位置づけ、推進していく必要があると痛感されるが、町長はどう考えているか。	町 長
		2 大金久海岸周辺の整備対策について	(1) 現在整備中のコテージエリア、グラスボート乗船受付施設を含む旧コテージエリア、野営場等周辺一帯の環境整備については、住民からアイデアを募り推進していく考えはないか。	町 長
		3 遊歩道等の活用対策について	(1) 大金久から船倉に至る遊歩道は砂に埋まり通行できない状態が続いているが、既存の施設と周辺の環境を再整備して有効に活用する考えはないか。	町 長
3	林 敏 治	1 農業の振興対策について	(1) 古里地区畑地かんがい事業はどのような推進状況であるか。 (2) キジ、カラス、ヤスデ等の鳥獣や害虫による被害が増えるのではないかと懸念されるが、対策をどう講じていく考えであるか。	町 長 町 長
		2 商工観光業の振興対策について	(1) 消費喚起プレミアム旅行商品券助成事業については、誘客が促進されるとともに、商品券が流通することにより島内消費が喚起されると期待するものであるが、具体的にどう推進していく考えであるか。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 7 年 第 1 回 定 例 会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
4	麓 才 良	1 鹿 児 島 大 学 C O C 事 業 の 活 用 について	(1) 次世代のクリーンエネルギーとして注目されている燃料電池を活用した水素型エコアイランドの実現は、台風対策や無電柱化による景観向上など、他分野への波及効果も期待できると痛感されるが、鹿児島大学COC事業を活用し自立分散型エネルギーの導入について調査研究する考えはないか。	町 長
		2 結 婚 か ら 妊 娠 ・ 出 産 ・ 子 育 て ま だ の 切 れ 目 の な い 支 援 に つ い て	(1) 若い世代に対する結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援が本町の大きな課題であることから、民間の医療機関等とも緊密に連携して、産婦人科医及び小児科医を招へい・確保することが必要であると痛感されるが、町が主導してそうした環境を整える考えはないか。 (2) 「三つ子の魂百まで」と言われていることから、特に3才児までの子育て支援を重点課題として位置づけた上で、本町ならではの特色ある対策を講じていく必要があると痛感されるが、どのように認識し、どう取り組む考えであるか。	町 長 町 長
5	喜 山 康 三	1 公 共 施 設 の 整 備 ・ 配 置 に つ い て	(1) 役場庁舎の建て替えが本町当面の課題の一つであるが、そのための財政計画をどのように試算し、町民のコンセンサス（合意）をどう得ていく考えであるか。 (2) 文部科学省から「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」が公表されたが、本町の学校配置についてはどう考えているか。	町 長 教 育 委 員 長
		2 業 務 の 外 部 委 託 に つ い て	(1) 財政負担を軽減しながら、行政事務の効率化と町民サービスの向上を図る上で、各般にわたる業務の外部委託をどのように評価し、どう進める方針であるか。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 7 年 第 1 回 定 例 会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
		3 若者及びU・Iターン者の定住促進対策について	(1) 新生活運動の推進がおろそかになっていると思われるが、社会的な合意を得ながら取り組む考えはないか。 (2) 小組合の区分や文書配布の在り方等は現代の情報化社会の実情等にそぐわないと考える。高齢化の一層の進展に伴い、若年世代への負担が増大することにならないか懸念されることから、新たな制度づくりに取り組む考えはないか。	教 育 委 員 長 町 長
6	福 地 元 一 郎	1 情報化の充実対策について	(1) 町内に構築されている光ファイバ網を利用して、空港、港の待合所、図書館、自治公民館などにワイファイのフリースポットを設け、観光客や島民が利用できるよう対策を講じる必要があると痛感されるが、これを推進する考えはないか。	町 長
		2 情報教育の推進対策について	(1) 近年は若い人を中心に無料通信アプリ「ライン」でSNS等が盛んに行われるようになり、与論でも中・高校生の中に利用者が増えてきている。このアプリを利用すると無料で通話ができ便利な反面、犯罪に利用されたり、インターネット上での誹謗中傷やいじめなどトラブルも増えてきている。このため、教育委員会で実態を把握してインターネットの利用マナーや情報リテラシーを指導するなど、そうした事態が起きた場合の対応策も含めた危機管理等情報教育を推進する必要があると痛感するが、どう取り組む考えであるか。	教 育 委 員 長
		3 情報化環境の整備対策について	(1) 本町の光ファイバは、IRU方式でNTT西日本と10年間の契約を交わし同社が管理運営も行っているが、近年相次ぐ台風災害による断線や停電で緊急電話ができないなどの問題が生じている。一方、技術の進	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 7 年 第 1 回 定 例 会 No. 5

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
			<p>歩によりスマートフォンでも高速のインターネットができるようになり、インターネット環境は日々変化している。4年後の平成31年には契約更新を迎えることから、検討委員会を立ち上げて情報収集に努めていく必要があると痛感するが、どう考えているか。</p>	